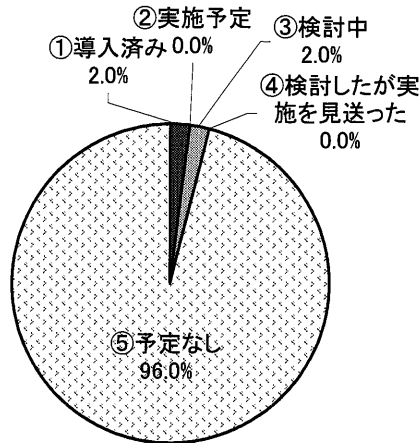


(2) 第三者委託

問1 第三者委託の導入状況について

①導入済み	②実施予定	③検討中	④検討したが実施を見送った	⑤予定なし
2	0	2	0	97

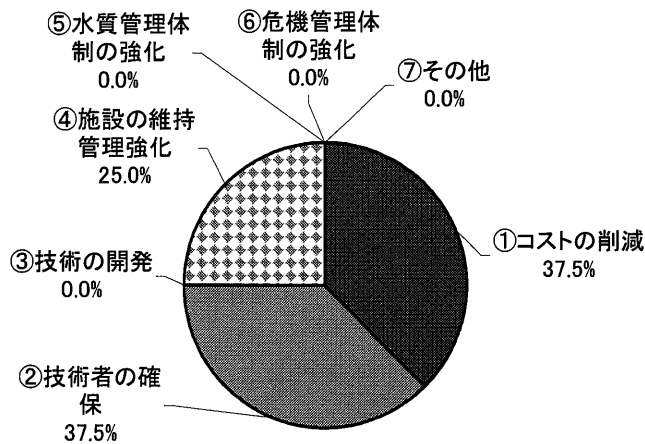


- 第三者委託の実施状況は、実施済みが2団体、検討中が2団体である。

問2 (問1において、「①導入済み、②実施予定、③検討中」と回答した事業体のみ回答)

問2 (1) 第三者委託導入の目的 (複数回答)

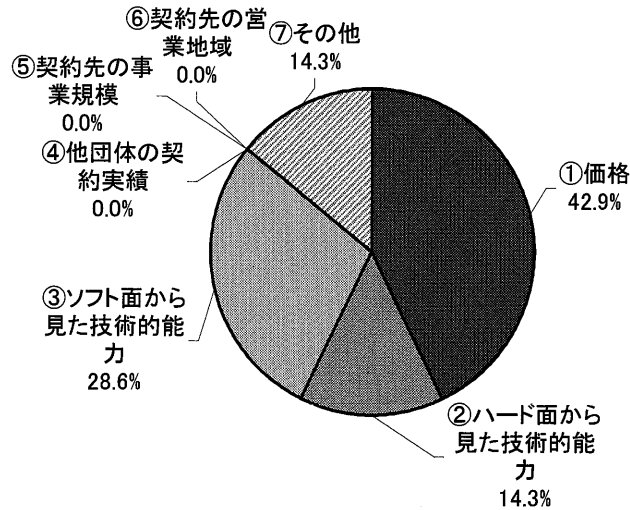
①コストの削減	②技術者の確保	③技術の開発	④施設の維持管理強化	⑤水質管理体制の強化
3	3	0	2	0
⑥危機管理体制の強化	⑦その他			
0	0	-	-	-



- 導入の目的は、「コストの削減」と「技術者の確保」が37.5%である。

問 2 (2) 委託先の選定にあたって特に重視した(する)点(複数回答)

①価格	②ハード面から見た技術的能力	③ソフト面から見た技術的能力	④他団体の契約実績	⑤契約先の事業規模
3	1	2	0	0
⑥契約先の営業地域	⑦その他			
0	1	-	-	-



- 委託先で重視する点は、「価格」が 42.9%、次いで「ソフト面から見た技術的能力」が 28.6%（ハード面から技術的能力と合わせて 42.9%）である。

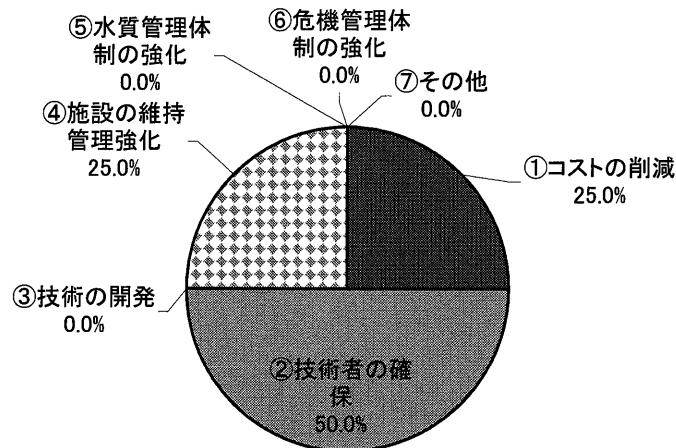
(その他の主な記述)

・技術の継続性

問 3 (問 1 において、「①導入済み」と回答した事業体のみ回答)

問 3 (1) 第三者委託の導入によって実際に得られた効果 (複数回答)

①コストの削減	②技術者の確保	③技術の開発	④施設の維持管理強化	⑤水質管理体制の強化
1	2	0	1	0
⑥危機管理体制の強化	⑦その他			
0	0	-	-	-



- 導入の効果は、「技術者の確保」が 50.0%、次いで「コストの削減」が 25.0%、「施設の維持管理強化」が 25.0%である。

問 3 (2) 導入後の問題点：特に問題はない 4 団体

(その他の主な記述)

・役所側の意識の持ち方 (今後)

問 3 (3) 導入後の実施状況確認 (モニタリング) の方法

- ・各月業務報告を提出させ、日々中央監視システムと警報装置にて常に水質をチェックし管理状況を把握する
- ・現場の同時確認作業の実施

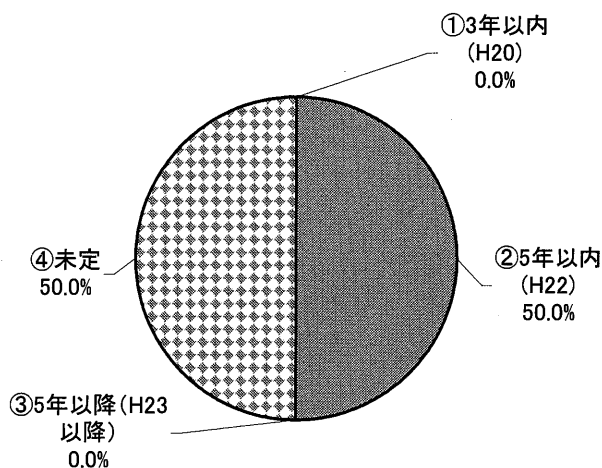
問4 (問1において、「③検討中」と回答した事業体のみ回答)

問4(1) 第三者委託を導入する業務・事業名

- ・施設の包括的管理
- ・浄水施設等の維持管理

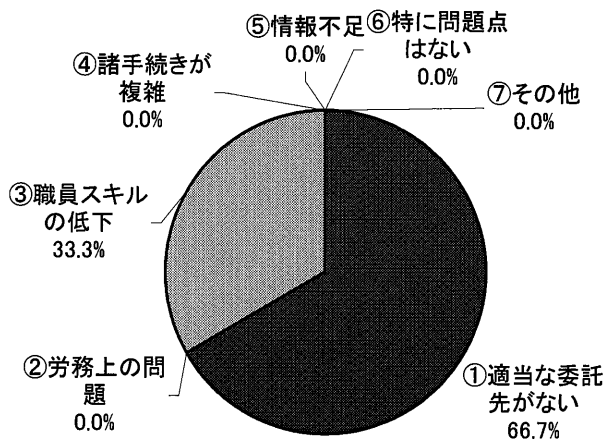
問4(2) 導入時期

①3年以内(H20)	②5年以内(H22)	③5年以降(H23以降)	④未定	
0	1	0	1	-



問4(3) 導入に当たっての問題点 (複数回答)

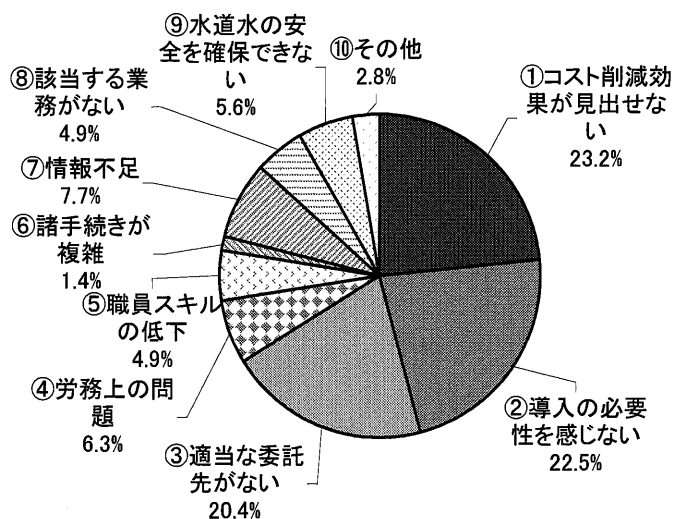
①適当な委託先がない	②労務上の問題	③職員スキルの低下	④諸手続きが複雑	⑤情報不足
2	0	1	0	0
⑥特に問題点はない	⑦その他			
0	0	-	-	-



問5 導入しない（見送った）理由（複数回答）

（問1において、「④検討したが実施を見送った、⑤予定なし」と回答した事業者のみ回答）

①コスト削減効果が見出せない	②導入の必要性を感じない	③適当な委託先がない	④労務上の問題	⑤職員スキルの低下
33	32	29	9	7
⑥諸手続きが複雑	⑦情報不足	⑧該当する業務がない	⑨水道水の安全を確保できない	⑩その他
2	11	7	8	4



- 導入しない理由は、「コスト削減効果が見出せない」が 23.2%、次いで「導入の必要性を感じない」が 22.5%である。

（その他の主な記述）

- ・ 事業規模が小さく制度導入に適さない
- ・ 事業の整備段階であり、引き受ける事業者がない